

明和校区まちづくりプラン

第2期（令和4年度～令和8年度）



明和から見た桜島

～明るく和やかで誰もが住みたいふるさと～

明和まちづくり協議会

目 次

I	はじめに	1
	会長あいさつ	
II	校区の概要	
	1 校区のあゆみ	2
	2 「明和」校名・町名の由来	5
	3 校区の地図	6
	4 人口の推移	7
III	まちづくり協議会の活動	
	1 活動計画期間	8
	2 まちづくりスローガン	8
	3 活動目標	8
	4 運営方針	8
	5 運営組織	9
IV	各部会の活動	
	1 文化部会	10
	2 社会体育部会	10
	3 青少年健全育成部会	11
	4 福祉部会	11
	5 まちづくり部会	12
	6 安心安全部会	12
V	活動の体系	
	1 活動の体系図	13
	2 「まちづくりプラン」実施計画	14
	【資料】	
	1 写真集	資 1
	2 小・中学校のあり方について	資 2
	3 町内会の紹介	資 3
	4 プラン策定のためのアンケート（1期プランから）	資 6
	5 まちづくりプラン策定委員会	資 13

I はじめに

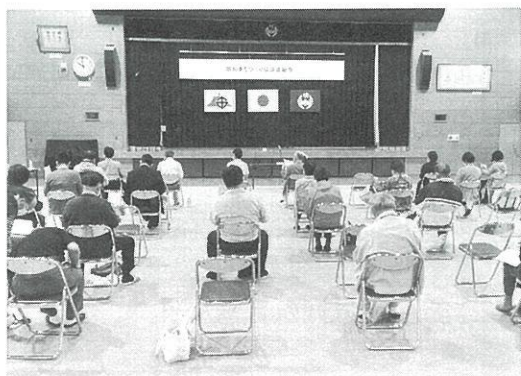
校区公民館運営審議会からまちづくり協議会へ6年 1期プラン策定から5年、次のステップへ



平成27年度にまちづくり協議会が設立され、平成29年度から令和3年度までの5年を第1期期間とした「まちづくりプラン」を策定し新たなコミュニティ活動を進めてきました。その多くは従前の校区公民館活動を継承するものでスムーズに取り組むことができました。中でも新たな視点として位置づけたのは平成28年11月に実施した全校区民を対象としたアンケートの結果でした。これらを念頭に置き生活環境や地域福祉の向上、魅力ある街づくりの推進にも取り組んできました。ただ、多様な要望の中には校区内で収斂できない課題も多々ありました。関係行政機関などとの連携による解決を図ることが求められています。

第1期期間が終わり、いよいよ第2期期間へと移行します。第2期では県営住宅の建替えが令和8年に終わること、中学校が学校規模適正化の対象校になっていることを踏まえた小中一貫校の設置なども正念場を迎えます。これらは第1期の総括を進めつつ、前倒しで一定の協議を進めてきた経緯もあります。着実に前進させなければなりません。今後の校区の発展にとって目が離せない重要な時期となります。皆様の一層の温かいご理解とご協力、参画をお願いいたします。

明和まちづくり協議会 会長 伊地知 紘徳



令和3年度総会（三密をさけて）



明和まちづくり協議会事務局

II 校区の概要

1 校区のあゆみ

昭和43年、鹿児島市街地から北西部にあたる、原良の丘を切り開き新しい団地が県住宅公社により造成され、先に分譲が始まっていた永吉団地と一緒に原良団地が誕生しました。戸建てを中心に次々と家が立ち並び、また、県営住宅を始めとして、県職員・教職員・警察・国家公務員・大学職員等の宿舎も建ち、大きく発展してきました。昭和49年に明和小学校、51年には明和中学校がそれぞれ開校し、ピーク時には2,000人に迫るマンモス校になり、プレハブ校舎で急場を凌いだものでした。しかし戸建ての住宅が多いこともあり平成10年を過ぎた頃から少子・高齢化が急激に進行しています。現在は、高齢化率37.5%です。

しかし、明和校区公民館運営審議会立ち上げ時の先輩方が「明和は一つ」を合言葉に明和ふるさと夏祭り・校区総合体育大会・校区文化祭・校区グラウンドゴルフ大会と全ての行事を校区全体で取り組んで来たことが今日の明和の「誰もが住みたいふるさと」に繋がっています。

鹿児島市の繁華街や中央駅に近く、交通の便が良く、団地内にショッピングセンター、病院、歯科医院、幼稚園や保育園などが整備され暮らしに事欠かないコンパクトな住宅団地です。

現在は老朽化した県営住宅の建て替えの真最中で、人口減少になっています。近い将来には新しい形での住宅の誕生が期待されています。



明和開発当時



最近のまちなみ

昭和42年(1967年)	永吉団地分譲始まる。 永吉団地親和会設立
昭和44年(1969年)	原良団地造成(116ha) 西の迫 陣ヶ岡 二又 丸岡の丘陵 造成中の土砂流失で原良・小野地区に被害 (44年6月・45年4月)
昭和46年(1971年)	分譲開始 一般・地主還元・建売住宅 県営住宅・県職員・教職員・大学職員・警察職員 建設省職員の住宅・分譲マンション
昭和47年(1972年)	近隣センター商店街・山形屋ストア誕生 郵便局・銀行・交番・病院 団地会館(集会場・事務室)・サブセンター3ヶ所 丸岡町内会設立(7月) 市営バス26番線開通
昭和48年(1973年)	県営住宅明友町内会設立(4月) 明和中央町内会設立(9月) 永吉団地栄寿会(老人クラブ)設立
昭和49年(1974年)	鹿児島市立明和小学校開校 第1回入学式 明和校区公民館運営審議会設立(4月) 明和西町内会設立(4月) 明和北町内会設立(10月)
昭和50年(1975年)	明和東町内会設立(8月) 第1回明和校区総合体育大会開催 第1回明和校区ソフトボール大会・ママさんバレーボール大会開催
昭和51年(1976年)	鹿児島市立明和中学校開校 第1回入学式 なでしこ町内会設立(4月) 明和クラブ結成(老人クラブ)(5月) 校区社会福祉協議会設立総会(8月)
昭和52年(1977年)	若葉町内会設立(4月) 小野団地町内会設立(5月) 初めて校区敬老会を開催
昭和54年(1979年)	住居表示により、明和1丁目～5丁目となる。
昭和55年(1980年)	明和児童クラブ開所
昭和56年(1981年)	校区公民館設置(プレハブ) 校区婦人ガン検診促進運動 第1回校区文化祭開催

昭和57年(1982年)	明和小学校児童数ピーク(1970人)
昭和58年(1983年)	明和音頭制作・振付・レコード化 「明和ふくしたより」発行(第1回)
昭和61年(1986年)	明和校区公民館新築落成
昭和62年(1987年)	明和福祉館完成 明和中学校生徒数ピーク(1,957人)
昭和63年(1988年)	市消防明和分遣隊配置
平成元年(1989年)	明和商工会設立(平成10年明和商工同友会に改称)
平成4年(1992年)	明和商工会を中心に手作りの夏祭りを初めて開催 (平成15年度より校区審議会主催で実行委員会方式での実施)
平成8年(1996年)	高齢化で毎年開催してきた「校区敬老会」を中止 永年開催してきたソフトボール大会・バレーボール大会に変え、 第1回グラウンドゴルフ大会開催
平成14年(2002年)	学校週5日制による「わくわく明和塾」の活動開始 (第1・第3土曜日午前、地域の児童見守り教室)
平成18年(2006年)	福祉マップ「めいわ あい まっぷ」第1号発行 (平成21年改訂版、平成28年改訂版発行)
平成27年(2015年)	明和コミュニティ協議会準備委員会発足
平成27年(2015年)	「明和まちづくり協議会」設立総会(5月24日)
平成28年(2016年)	明和まちづくりプラン作成(1期目5年)
令和2年(2020年)	新型コロナウイルス感染症拡大のため、
～令和3年(2021年)	ほとんどの事業が中止
令和3年(2021年)	明和まちづくりプラン2期目プラン策定
令和4年(2022年)	明和まちづくりプラン2期目活動スタート



明和ソフトボール少年団出身の川畑 瞳 選手の
東京2020大会のゴールドメダリストの功績を
たたえる記念のゴールドポスト
(鹿児島明和郵便局に令和4年1月14日に
設置されました)

2 「明和」校名・町名の由来

昭和44年に造成が始まった原良団地では、昭和46年に建売分譲が始まり、県営住宅・共済組合住宅等次々に建設されていった。

その頃、校区（永吉町・原良町・小野町・田上町の各一部）の児童は、原良小学校に通っていた。その原良小学校が児童の急増で飽和状態にあり、そこで、原良小学校から分離して、原良団地に小学校が新設されることになった。

鹿児島市教育委員会では、昭和48年11月20日の委員会に、事務当局の案として、この新設校に「永吉小学校」として示している。しかし、委員の中から異論が出され、12月の委員会に持ち越された。

原良団地・永吉団地の地区住民は出来巽氏をはじめ当時の原良小学校PTA役員（永吉団地・原良団地地区選出）を中心に協議、アンケートで住民の意見を聞くことにした。その結果「明和」が圧倒的に多く、「原良西」「向陽」がそれに続いていた。

この「明和」は、すでに昭和47年に結成された県営住宅町内会の名称であり、町内会結成当時の公募に県営住宅9棟507号の徳重博幸君が応募したもので、「明朗で、みんな和やかに」という願いがこめられていた。

出来巽氏が町内会の長山住氏などと相談、「明和」が新設小学校名となった場合は、町内会名を「明友」と変更することとし、「明和」「原良西」「向陽」の三つを並記して教育委員会に示した。昭和48年12月5日の教育委員会で「明和小学校」とすることが決定された。

それから5年8ヶ月後の昭和54年7月16日、永吉町の一部であった永吉団地や原良町の一部であった原良団地は「明和」に町名が改められた。

元来、町の改廃分割統合には相当の検討準備期間を要するのが常である。「明和」という新しい町をつくるについても、相応の期間を要しはしたが、スムーズに事が運んだのは、すでに明和小学校が開校して5年を経過していたので、校区の住民は、小学校名と同一の町名を積極的に歓迎し受け入れたのである。このように、「明和」という町名の誕生には、本校の「明和」が先導的役割を果たしている。

（資料提供 生駒一雄・田尻厚子・馬場園智昭） ～明和小学校10周年記念誌より～



明和小学校正門

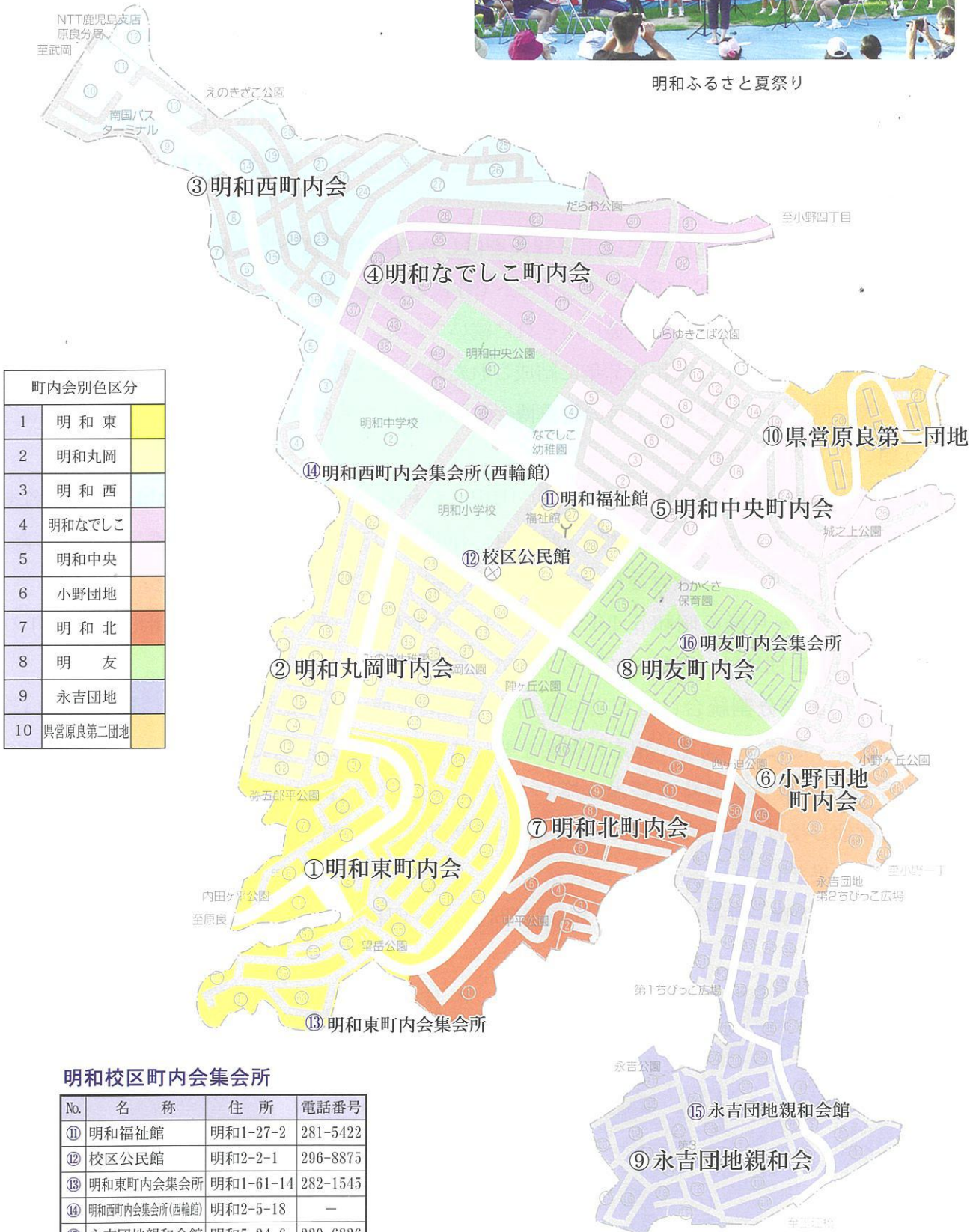


明和中学校正門

3 校区の地図



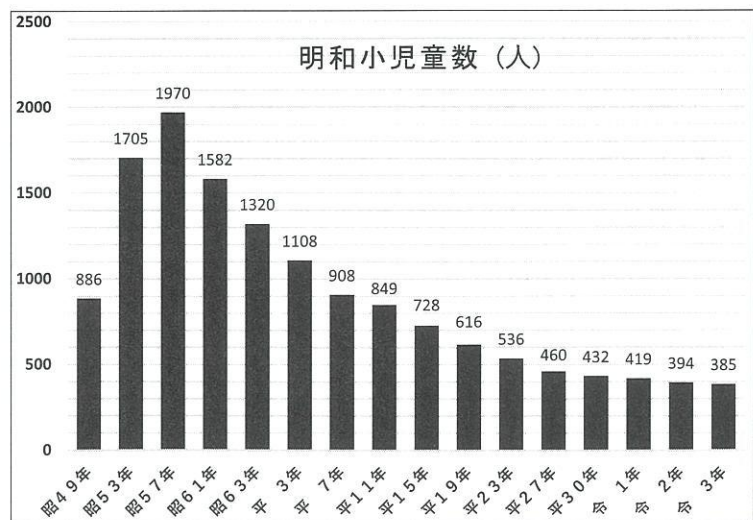
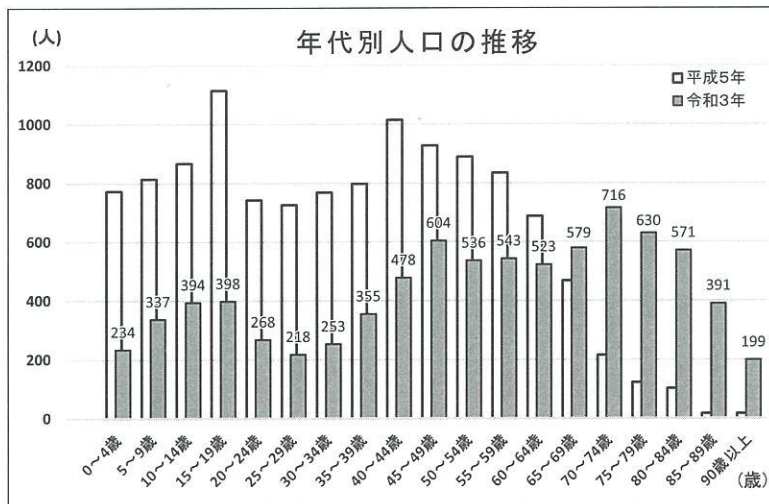
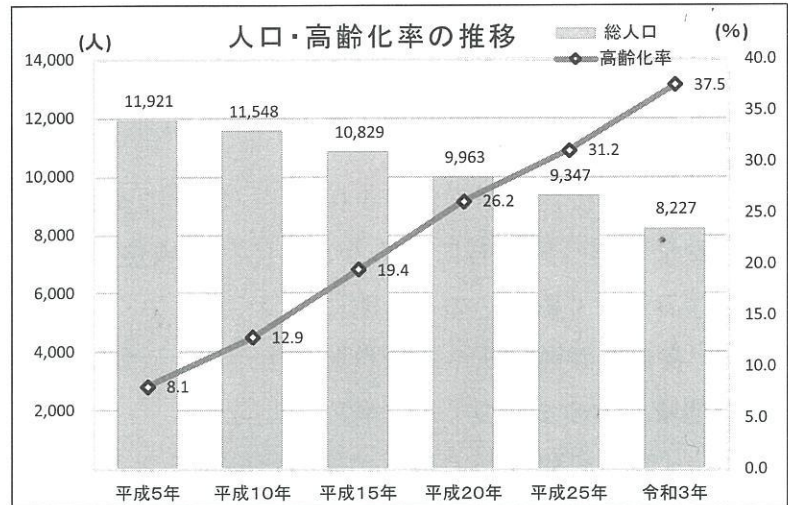
明和ふるさと夏祭り



4 人口の推移

平成5年と令和3年の人口を比較すると、約3千人の減少傾向にあり、今後もこの傾向は続くと予想される。また、各年齢層の人口の推移を比較してみると、校区においても若年層の急激な人口の減少とは反対に高齢者層の人口が増え、高齢化率が伸びていることがわかる。

小学校の児童数の変遷をみてみると、昭和57年2千人に迫る時期もあったが、その後減少傾向に転じ、現在は400人未満で推移している。



Ⅲ まちづくり協議会の活動

1 活動計画期間

令和4年度～8年度（2期目）

2 スローガン

「明るく和やかで誰もが住みたいふるさと」

3 活動目標

- (1) 「明和校区」ができて40余年、さらに安心・安全で美しいまちにするとともに、地域住民が住みやすく賑わいのある明和をつくっていく。
- (2) 身近な課題解決や地域資源を生かした活動など地域主体のまちづくりに努める。
- (3) 「明るく和やかで誰もが住みたいふるさと」をめざし、社会教育の充実により、豊かな文化を醸成し、誇り高い校区の発展を図る。
- (4) 県営住宅地の活用は、校区再生の鍵となる。有効な活用が図られるよう行政機関への働きかけを強化する。
- (5) 少子化の影響を受け、中学校が学校規模適正化の対象校となっている。中学校の統廃合は、校区の分断化につながり、これまでの地域の絆を喪失させる大きな要因となる。このことから、小・中学校の一貫校の設置と跡地の活用が図られるよう、教育委員会をはじめ関係機関への働きかけに取り組む。

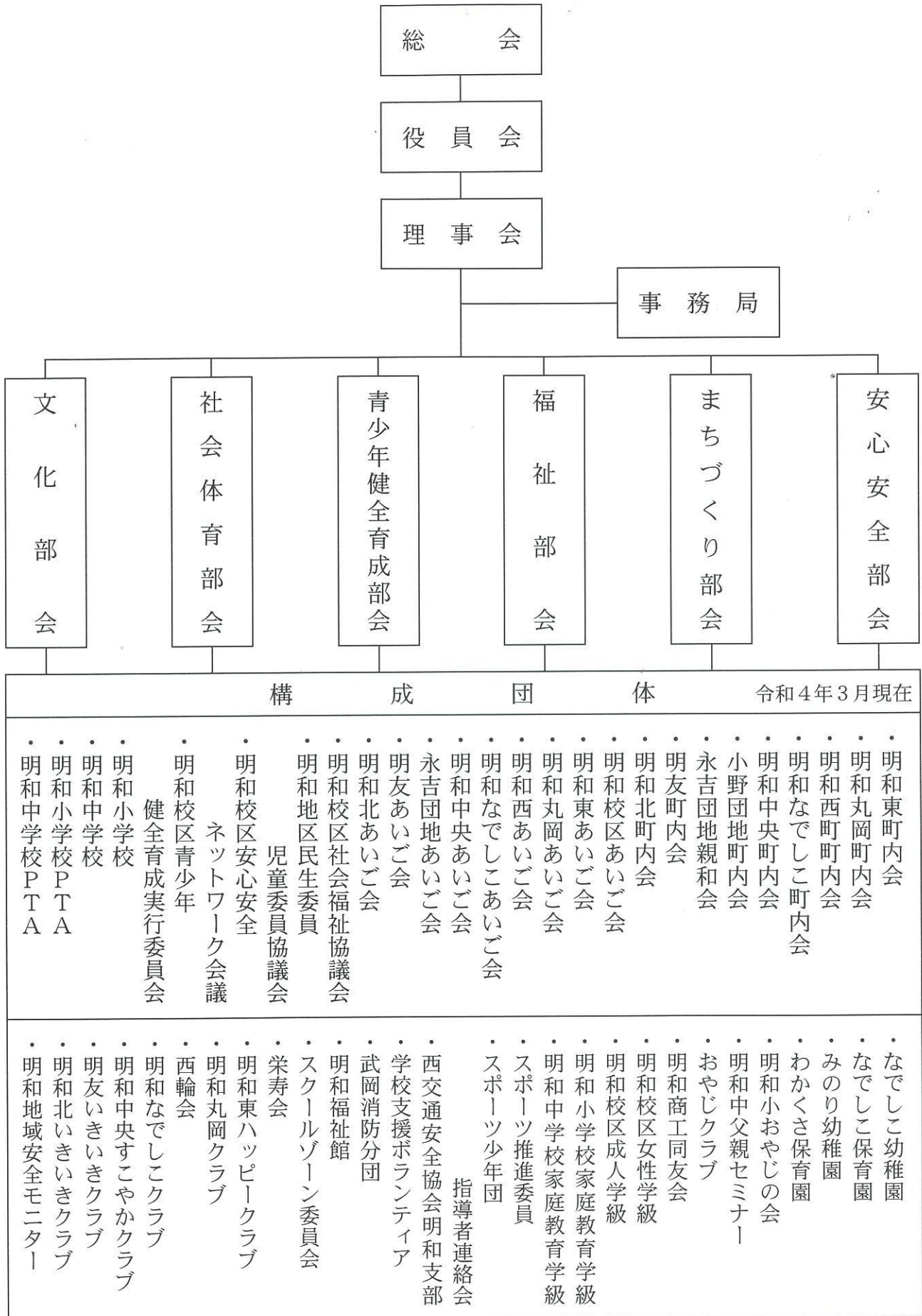


明和まちづくり協議会設立総会

4 運営方針

- (1) 少子・高齢化をはじめとする校区における暮らしの課題の克服や地域福祉の向上に、明和校区民が連帯意識を持ってあらゆる活動に主体的に参画し、明るく和やかで誰もが住みたいと思うまちづくりを推進する。
- (2) まちづくりは人づくり。生涯学習を基本とする社会教育活動を通じて心豊かな文化と精神を醸成し、ともに助け合いながら喜びを分かち合う共生社会の実現を推進する。
- (3) みんなで創る地域づくりを基本に、それぞれの専門部がその役員を担い、主体的に活動を充実、発展させる。
- (4) 各種構成団体との連携強化を図り、情報の共有化と効率的な事業推進に努める。
- (5) 校区の課題や住民の意見が反映されたコミュニティプランをもとに、共助、公助、自助による計画の実現をめざすと同時に関係行政機関との連携による活動の充実を図る。

5 運営組織



IV 各部会の活動

1 文化部会

(1) 現状と課題

文化祭は回を重ね、校区民には定着しているが、高齢化が進むなかで、実施内容の改善など今後考えていく必要がある。また、参加・参画を拡大するための広報活動が必要である。

女性学級や成人学級等の社会学級では年間を通して、しっかりした学習計画のもと、学級生は熱心に取り組んでいる。しかし、学級生の高齢化や減少にどう対処していくかが今後の課題である。

(2) 基本方針

行事や生涯学習を通じて学ぶ喜びを感じ、
校区の仲間をつくるまちづくり

(3) 活動内容

- ① ふれあい活動
- ② 生涯学習の充実



わくわく明和秋祭り

2 社会体育部会

(1) 現状と課題

40年を超えた校区総合体育大会、そしてソフトボール・バレーボールに変わって実施している親善グラウンドゴルフ大会は手作りの行事として定着し、校区民の子どもから高齢者までの約7割の人々が参加しており、まち全体のコミュニケーションを図る機会となっている。

今後も改善を加えながら継続し、校区民の健康増進と親睦の場を提供していきたい。

(2) 基本方針

校区のスポーツ大会をとして健康増進をはかり、
校区民や町内会の親睦を図るまちづくり

(3) 活動内容

- ① 健康増進活動
- ② ふれあい活動
- ③ 育成活動



明和校区総合体育大会

3 青少年健全育成部会

(1) 現状と課題

少子化が進んでいる中で、いかにして校区全体で、地域の教育力を高めていくかが課題となっている。そうした中で、校区ふれあい一斉清掃は、青少年健全育成実行委員会にて校区全体で取り組む活動を模索していた17・8年前から取り組んでいる。アンケート結果を見ても各行事の中で一番参加者と参加率が高い。地域の大人たちと、子どもたちのふれあいを大切にしながら今後とも継続していきたい。

また、小学校・中学校が「あいさつ運動」に取り組んでおり、校区全体が大人も子どもも気軽にあいさつできる環境にしていきたい。あいご会については、みんなで支えながら高齢者クラブ・おやじの会等との交流を図り、子どもたちにもいろいろな体験をさせていきたい。

校区民が子どもたちと一緒に交流することで、地域全体で子どもたちを育てる意識を共有することになり、校区民が青少年健全育成に寄与し、ひいては明和地域の教育力の向上が図られる。

(2) 基本方針

次世代を担う青少年の健全育成を図るために、家庭・学校・地域が一体となった活動を展開しながら、明和校区全体の教育力を高めるまちづくり

(3) 活動内容

- ① 見守り活動
- ② 育成活動（あいご会）
- ③ 地域教育力の充実



あいさつ標語

4 福祉部会

(1) 現状と課題

明和校区は市の中心部に近く、交通面からも住みやすいまちで、長く暮らす住民も多く、地域のつながりもある。高齢化が進み、健康や介護、老後の生活の不安を抱える声も増えつつある。その為、今後は行事等を通じた高齢者等とのふれあいを多くし、研修会や情報の発信等を通じた校区民への情報提供・意識啓発に努め、子どもや高齢者も暮らしやすい取り組みが必要である。

(2) 基本方針

校区民の福祉増進を図り、子育て支援等、明るく住みよい地域社会を創るまちづくり

(3) 活動内容

- ① 研修会の実施
- ② 安否確認活動
- ③ 支援活動
- ④ 広報活動



子育てサロン

5 まちづくり部会

(1) 現状と課題

行事等を通じた地域活動への協力意識、共助の精神が強い校区である。長年住んでいる住民も多く、共助の精神が強い。近隣の人間関係も構築されている。校区行事等への参加率も高いので、少子・高齢化を勘案しながら今後の地域づくりに取り組む必要がある。

また、県営住宅跡地の活用策についても、住民の声を反映させ、小・中学校の児童・生徒数の減少化を最小限に食い止め、賑わいのあるまちづくりに取り組む必要がある。少子化が進んでいる。

(2) 基本方針

校区民のふれあいと共生、協働による
活力あるまちづくり

(3) 活動内容

- ① 地域活性化活動
- ② 交流活動



明和ふるさと夏祭り

6 安心安全部会

(1) 現状と課題

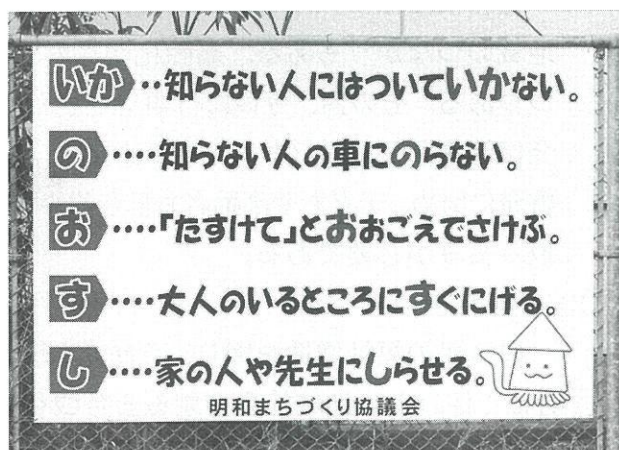
長年、子ども安全パトロールや夜間補導・危険箇所点検等、子どもを中心とした見守り活動を続けて一定の実績を積み上げてきた。今後、高齢者の交通安全教育や防災訓練や研修を通して校区民の安全意識を高めたい。また「あいさつ運動」を通しての声掛けなどで少子・高齢化の中で近隣住民の安全の確保に努める必要がある。

(2) 基本方針

子どもから大人まで安心して暮らせるまちづくり

(3) 活動内容

- ① 防犯活動
- ② 事故防止活動
- ③ 見守り活動の充実
- ④ 防災減災活動



子どもたちの安全を見守ります

V 活動の体系

1 活動の体系図

目標	部会	基本方針	主な活動内容	主な事業名
明るく和やかで誰もが住みたいふるさと（スローガン）	文化部会	行事や生涯学習を通じて学ぶ喜びを感じ、校区の仲間をつくるまちづくり	○ふれあい活動 ○生涯学習の充実	・社会学級（成人学級、女性学級）の実施 ・家庭教育学級の実施 ・わくわく明和秋祭り
	社会体育部会	校区のスポーツ大会をとおして健康増進をはかり、校区民や町内会の親睦を図るまちづくり	○健康増進活動 ○ふれあい活動 ○育成活動	・校区総合体育大会 ・校区親善グラウンドゴルフ大会 ・スポーツ少年団の育成
	青少年健全育成部会	次世代を担う青少年の健全育成を図るため、家庭・学校・地域が一体となった活動を展開しながら、明和校区全体の教育力を高めるまちづくり	○見守り活動 ○育成活動（あいご会） ○地域教育力の充実	・子ども安全パトロール ・長期休業中の夜間パトロール ・あいご会活動の充実 ・あいさつ運動の推進 ・校区一斉清掃及びふれあい活動
	福祉部会	校区住民の福祉増進を図り、子育て支援等、明るく住みよい地域社会を創るまちづくり	○研修会の実施 ○安否確認活動 ○支援活動 ○広報活動	・ボランティア活動研修会 ・介護講習会 ・町内会長と民生委員児童委員との意見交換会 ・福祉ネットワーク推進委員会 ・命の安心カードの配布 ・子育てサロンの運営 ・福祉のつどい、健康相談会 ・広報紙の発行
	まちづくり部会	校区民のふれあいと共生、協働による活力あるまちづくり	○地域活性化活動 ○交流活動	・町内会長研修会 ・高齢者クラブ親善グラウンドゴルフ大会 ・新たなまちづくり創造事業（小中一貫教育、県営住宅跡地） ・明和ふるさと夏祭り ・オープンゴルフ大会
	安心安全部会	子どもから大人まで安心して暮らせるまちづくり	○防犯活動 ○事故防止活動 ○見守り活動 ○防災減災活動	・防犯灯の設置及び管理 ・交通安全運動レター作戦 ・自転車安全運転教室 ・高齢者交通安全教室 ・児童生徒の登下校の見守り ・子ども110番の家充実 ・防災訓練、研修

2 「まちづくりプラン」実施計画

No1

番号	基本方針	活動内容	事業名	実施部会等	事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規/継続	備考	
							4	5	6	7			8
1		ふれあい活動	わくわく明和秋祭り	文化部会 (実行委員会)	<ul style="list-style-type: none"> 自主学習グループ、社会学級、幼保、小中学校などの舞台発表、作品展示 広報の工夫 フリーマーケットの開催(検討事項) 	生涯学習を通して実践した成果を発表し、地域文化の向上と豊かな心が育つふるさつづくりに寄与する。	○	○	○	○	○	継続	
2	行事や生涯学習を通じて学ぶ喜びを感じ、校区の仲間をつくるまちづくり	生涯学習の充実	社会学級の実施	文化部会	<ul style="list-style-type: none"> 女性学級、成人学級の開設と講座の運営実施 家庭教育学級の支援と充実 	身近な生涯学習の機会を通して、良き社会人としての知識を身につけると共に、学んだ成果を明和のふるさとづくりに生かす。	○	○	○	○	○	継続	
3			関係機関との連携 (地域公民館、福祉館等)	文化部会	<ul style="list-style-type: none"> 校区行事との調整 地域公民館、福祉館の行事への協力 (文化祭、人権問題研修会等) 	地域公民館、福祉館等との連携や活用を図ることにより、幅広い人の交流・知識が高まり、生きがいづくりを高めるとともに、明和のふるさとづくりに生かす。	○	○	○	○	○	継続	
4		健康増進活動 ふれあい活動	校区総合体育大会	社会体育部会 まちづくり部会 (実行委員会)	<ul style="list-style-type: none"> 町内会対抗競技 高齢者の競技 小中学生の徒競走 参加しやすい競技の検討等 	幼児から高齢者までの競技をとおして地域住民の親睦や健康増進を図るとともに参加しやすい雰囲気づくりに努め、校区の連帯意識の向上を図る。	○	○	○	○	○	継続	
5	校区のスポーツ大会をとおして健康増進をはかり、校区民や町内会の親睦を図るまちづくり		校区親善グラウンドゴルフ大会	社会体育部会 (実行委員会)	<ul style="list-style-type: none"> 町内会単位、各年齢層を交えたグラウンドゴルフ 表彰 懇親会 	異年齢によるグラウンドゴルフ大会を通じて、お互いの親睦、体力向上を図るとともに、明るい町づくりを推進し、校区社会体育の振興発展に寄与する。	○	○	○	○	○	継続	
6		育成活動	スポーツ少年団の育成	社会体育部会	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ少年団活動の見守り、援助 活動しやすい環境づくり、相談活動 	声かけやポスター掲示、励まし、見届けによって活動の充実を図るとともに、少子化による入団の減少傾向を防ぐ。	○	○	○	○	○	継続	

番号	基本方針	活動内容	事業名	実施部会等	事業内容	事業効果	事業スケジュール					新規/継続	備考	
							4	5	6	7	8			
7	次世代を担う青少年の健全育成を図るため、家庭・学校・地域が一体となった活動を展開しながら、明和校区全体の教育力を高めるまちづくり	見守り活動	子ども安全パトロール	青少年健全育成部会	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校PTAによる放課後を中心とした見守り活動を 	パトロールを実施することにより子どもたちの安全意識の向上や安全確保と抑止力効果を得る。	○	○	○	○	○	継続		
8			長期休業中の夜間パトロール	青少年健全育成部会	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校PTAによる放課後を中心とした見守り活動 長期休業中に保護者、学校、地域住民と連携し見守り活動と声掛けの実施 	保護者、学校、地域住民が連携することで、地域全体で子どもたちを見守る意識の高揚が得られ、ひいては地域ぐるみの見守りを推進する。	○	○	○	○	○	○	継続	
9	次世代を担う青少年の健全育成を図るため、家庭・学校・地域が一体となった活動を展開しながら、明和校区全体の教育力を高めるまちづくり	育成活動	あいご会活動の充実	青少年健全育成部会	<ul style="list-style-type: none"> 組織充実と加入促進 行事の支援と協力(ジュニアレスキュー、ドッジボール大会、KYTユニーススポーツ大会等) 	地域ぐるみによる支援を図ることにより、あいご会活動の充実と子どもたちの健全育成、ふるさとづくりを推進する。	○	○	○	○	○	継続		
10			あいさつ運動の推進	青少年健全育成部会	<ul style="list-style-type: none"> 幼児から高齢者までの運動の展開 「あいさつロード」の設定 活動の広報(標語募集・立看板等) 	住民同士のあいさつで、近隣とのコミュニケーションが図られ、地域住民の一員としての郷土愛を育む。	○	○	○	○	○	○	継続	
11	次世代を担う青少年の健全育成を図るため、家庭・学校・地域が一体となった活動を展開しながら、明和校区全体の教育力を高めるまちづくり	地域教育力の充実	校区一斉清掃及びふれあい活動	青少年健全育成部会	<ul style="list-style-type: none"> 町内会ごとに住民全員が参加した清掃作業 作業後のふれあい活動 	地域住民と一緒に清掃作業、ふれあい活動を実施することにより、住民交流(世代間交流=異年齢交流)を図り、住民同士の絆を深めると同時に、地域教育力を高める。	○	○	○	○	○	○	継続	

番号	基本方針	活動内容	事業名	実施部会等	事業内容	事業効果	事業スケジュール					新規/継続	備考		
							4	5	6	7	8				
12	校区民の福祉増進を図り、子育て支援等、明るく住みよい地域社会を創るまちづくり	研修会の実施	ボランティア活動 研修会	福祉部会 (社会福祉協議会)	<ul style="list-style-type: none"> 介護の実情の理解 介護の基礎知識や技能の習得 ボランティア活動 	介護の基礎知識や技能の習得により、高齢者や障がい者の支援ができ、安心して生活できる地域社会づくりを目指す。	○	○	○	○	○	継続			
13			介護講習会	福祉部会 (社会福祉協議会)	<ul style="list-style-type: none"> 介護の現状理解 町内会毎に介護の仕方に関する実技研修 	介護技術に関する講習会を開催することで介護技術の習得により、家族の介護負担軽減を図る。	○	○	○	○	○	○	継続		
14		校区民の福祉増進を図り、子育て支援等、明るく住みよい地域社会を創るまちづくり	安否確認活動	町内会長と民生委員児童委員との意見交換会	福祉部会 (社会福祉協議会)	<ul style="list-style-type: none"> 各町内会における現状の共通理解 町内会、民生委員児童委員との連携 	校区の福祉に関する状況を共通理解することで、安心安全に暮らせる組織をつくる。	○	○	○	○	○	継続		
15				福祉ネットワーク 推進委員会	福祉部会 (社会福祉協議会)	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉活動への支援 活動拠点の提供 福祉情報の提供 ボランティア活動への支援 	地域の様々な団体や個人が連携して互いに支え合い、助け合う仕組みを全住民に整えるため、福祉館を拠点としたネットワークの構築に取り組み。	○	○	○	○	○	○	継続	
16		支援活動	安否確認活動	命の安心カード 配布	福祉部会 (社会福祉協議会)	<ul style="list-style-type: none"> 校区内全住民への「命の安心カード・携帯安心カード」を配布することにより、安心や安全を確保する。 	支援の必要な高齢者や障がい者に連絡先や対処方法の記載された「命の安心カード・携帯安心カード」を配布することにより、安心や安全を確保する。	○	○	○	○	○	○	継続	
17				子育てサロンの 運営	福祉部会 (社会福祉協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい活動の実施 子育てについての情報交換(親同士、子育てOG) 健康体操等 	子育て関係の各種団体等との連携で子育て世代の支援を行うことで、子育て世代の交流や不安の解消を行い、暮らしやすい地域づくりをめざす。	○	○	○	○	○	○	○	継続

番号	基本方針	活動内容	事業名	実施部会等	事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規/継続	備考	
							4	5	6	7			8
18	校区民の福祉増進を図り、子育て支援等、明るく住みよい地域社会を創るまちづくり	支援活動	福祉のつどい・健康相談会	福祉部会 (社会福祉協議会、福祉館)	<ul style="list-style-type: none"> 70歳以上の一人世帯の高齢者、障がい者、町内会長、民生委員児童委員、福祉館職員の交流 	一人暮らしの高齢者や障がい者の健康相談や会食を通して、校区民が支援し、孤立化を防ぐことができる。	○	○	○	○	○	継続	福祉館との共催
19		広報活動	広報紙の発行	福祉部会 (社会福祉協議会、福祉館)	<ul style="list-style-type: none"> 「めいわあいマップ」作成、配布 「福祉だより」の発行 	明和の福祉に関する情報発信をすることにより、校区の現状や取組について理解や協力を求め、ふれあいのある住みやすいまちづくりに寄与する。	○	○	○	○	○	継続	
20			町内会長研修会	まちづくり部会 (町内会連合会)	<ul style="list-style-type: none"> 町内会運営情報交換 新町内会長の研修 町内会加入促進 	初めて引き受けた町内会長に対し諸手続きの仕方・町内会の運営等に対する研修と各町内会長間の情報交換を行うことで住みやすいまちづくりをつくる。	○	○	○	○	○	継続	
21	地域住民のふれあいと共生、協働による活力あるまちづくり	地域活性化活動	高齢者クラブ親善 グラウンドゴルフ大会	まちづくり部会 (校区高齢者クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> 団体による対抗戦 団体、個人の表彰 懇親会 	地域の更なる絆の深まりと地域の発展を願い、校区の幅広い人的交流を図る。	○	○	○	○	○	新規	
22			新たなまちづくり 創造事業 1	まちづくり部会	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育の実現と跡地の有効活用に向けた関係行政機関への提言要望活 	子どもたちが校区内で義務教育を終えることのできる環境整備を図る。	○	○	○	○	○	新規	
23			新たなまちづくり 創造事業 2	まちづくり部会	<ul style="list-style-type: none"> 県営住宅立替後の跡地有効活用に向けた関係行政機関への提言要望活動 	団地再生の実現とコンパクトシティを裏付ける集積の実現を図る。	○	○	○	○	○	新規	

番号	基本方針	活動内容	事業名	実施部会等	事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規/ 継続	備考	
							4	5	6	7			8
24	地域住民のふれあいと共生、協働による活力あるまちづくり	交流活動	明和ふるさと夏祭り	まちづくり部会 (実行委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと意識の定着(神輿, 灯籠作成) 異業種や各世代交流(舞台発表、夜店の出店、抽選会の実施) ボランティアの育成 	<p>親和と協力のもと手づくりの夏祭りを実施することで健康で明るい文化の香り高い明和のふるさとづくりの寄与し、青少年にふるさとへのよき思い出と郷土意識の高揚を培う。</p>	○	○	○	○	○	継続	
25			オープンゴルフ大会	まちづくり部会	<ul style="list-style-type: none"> 町内会対抗 個人の成績の表彰 懇親会 商工会の支援 	<p>地域の更なる絆の深まりと地域の発展を願い、校区内の幅広い人たちの交流を創出する一環として開催する。</p>	○	○	○	○	○	継続	
26		防犯活動	防犯灯の設置及び管理	安心安全部会 (町内会)	<ul style="list-style-type: none"> 防犯灯の設置 防犯灯の管理(電球の交換等) 	<p>防犯灯(外灯)を設置並びに明るくすることにより、夜の危険個所の排除と犯罪の未然防止を図る。</p>	○	○	○	○	○	継続	
27	子どもから大人まで安心して暮らせるまちづくり	交通安全運動レタラー作戦	交通安全運動レタラー作戦	安心安全部会	<ul style="list-style-type: none"> ドライバーへの安全運転の注意喚起 レタラーの作成 ドライバーへのレタラーの手渡し 	<p>地域を通行するドライバーにレタラーを配布したり、安全運転の注意喚起を促したりすることで、地域内の交通事故の撲滅を図る。</p>	○	○	○	○	○	継続	
28		事故防止活動	自転車安全運転教室	安心安全部会	<ul style="list-style-type: none"> 安全な乗車についての知識の習得 安全な乗車訓練 自転車競技大会への出場 	<p>自転車の乗り方や安全な走行について学んだり、自転車競技大会に出場したりすることで、運転技術の向上を図る。</p>	○	○	○	○	○	継続	
29		高齢者交通安全教室	高齢者交通安全教室	安心安全部会 (高齢者クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> 歩行や横断の留意点の習得 車の特性について 夜間の安全歩行について 	<p>高齢者交通事故防止の推進を図ることにより、高齢者の事故の撲滅や地域住民の交通安全意識が高まる。</p>	○	○	○	○	○	継続	

番号	基本方針	活動内容	事業名	実施部会等	事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規/ 継続	備考	
							4	5	6	7			8
30			児童生徒の登下校 の見守り	安心安全部会	<ul style="list-style-type: none"> 交通危険箇所での見守りと声かけ 横断歩道での安全歩行指導 	登下校する児童生徒を地域住民が見守り・指導することで安全な地域環境を目指す。	○	○	○	○	○	継続	
31	子どもから大人 まで安心して暮 らせるまちづく り	見守り活動	子ども110番の家 充実	安心安全部会	<ul style="list-style-type: none"> 子ども110番の家の確認と新規指定 子ども110番の家マップの作成と配布 	子ども110番の家の数を増やすことで、近くの家に駆けこみ、連れ去りや声掛け事案からの逃避を促し、子どもたちの安全の確保が図られる。	○	○	○	○	○	継続	
32		防災減災活動	防災訓練、研修	安心安全部会 (各町内会)	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の設立 防災、減災訓練の実施と研修会の開催 防災、減災の広報 	地震、台風、桜島爆発等の自然災害を想定した訓練や研修会を行うことで、地域住民の災害発生時の危機意識と迅速な避難行動を図り、被害を最小限に防ぎ、地域住民の安心安全を確保する。	○	○	○	○	○	継続	

資料1 写真集



明和ふるさと夏祭り
子どもみこし



明和校区総合体育大会



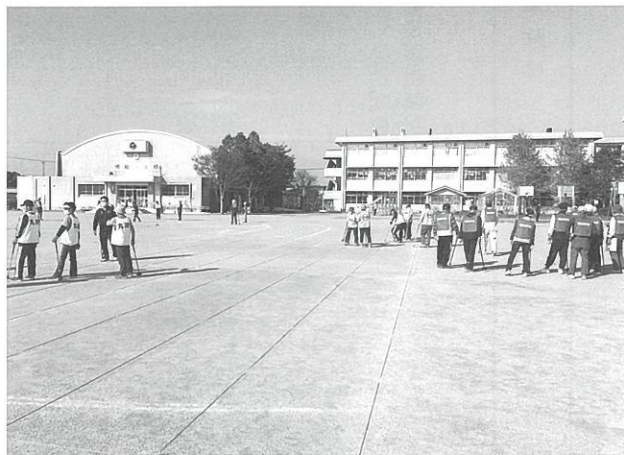
地域PTA風景



地域PTA風景



明和校区親善グラウンドゴルフ大会



明和校区親善グラウンドゴルフ大会

資料2 小・中学校のあり方について

※ 小・中学校のあり方についてまちづくり協議会で検討して、合意形成が図られた場合、下記の要望書を提出することとなります。(ヒナ型案 資料)

鹿児島市長 下 鶴 隆 央 殿
(事務取扱 鹿児島市教育委員会)

明和校区まちづくり協議会
会 長 伊地知 紘徳

明和校区における小・中一貫教育（義務教育学校） の導入，設置について（要望）

寒冷の候、貴職におかれましては市民福祉の向上と市政発展にご尽力を賜り深く感謝と御礼を申し上げます。

さて、鹿児島市教育委員会におかれましては平成30年3月に鹿児島市立小・中学校規模適正化・適正配置に関する基本方針を策定され、今日まで住民の意向を推し量りつつ慎重かつ丁寧に対応されてきたところです。

そうした中、私どもの校区におきましては明和中学校が過少規模校として学校規模適正化・適正配置の対象校となっています。多分に漏れず人口減少と少子高齢化が著しい私どもの校区では、とりわけ年代別人口を平成5年と令和3年で比較した場合、14歳以下は約40%強に減少しています。かかる現状の下、団地の形状からも年少人口の大幅な増加は見込める状況にありません。

私どもまちづくり協議会においては、まちづくりプランの2期目が令和4年度から始まることから、この間、協議を重ね今後の校区におけるコミュニティの発展に欠かせない課題として明和校区における小・中一貫教育（義務教育学校）の導入，設置を活動目標に掲げ取り組むこととなりました。そこで下記の通り理由を付して要望いたしますので、校区民の意思をお汲み取りいただきますよう、ご高配のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

記

1. 明和校区は東側が玉江橋西口に隣接し西側は武岡団地に隣接しています。明和中学校が廃止となり近隣の中学校に分割して統合されることも想定されます。これまで明和校区では一小・一中の校区としてコミュニティが形成され学校と地域の一体的融和が図られてきています。統廃合により生徒の通う中学校が複数になることは校区の分断に繋がりがねず保護者も望まないところです。
2. 上記1と合わせ、子どもたちにより良い教育環境を整えるため、地域の特性を生かした特徴ある教育の推進を望むこと。また跡地の校区発展に向けた有効活用、行政コストの縮減といった観点からも貴方針に示された小中一貫教育（義務教育学校）の導入，設置を要望するものです。

以上

資料3 町内会の紹介

明友町内会

私たち、明友町内会は令和3年4月に旧若葉町内会と合併し新生明友町内会としてスタートしました。世帯減に悩む両町内会が1年協議を重ねた結果の結論でした。

しかし、新生明友町内会も公務員官舎の老朽化による人口減少、また県営住宅の建替えによる人口減少と悩みは尽きません。せめて子どもの数が増える工夫と県営住宅の工事の促進を願うばかりです。

昔のように大勢の子供たちの賑やかな声が聞こえる町内会を望むばかりです。

(会長：村原芳実)



あいご会活動

明和なでしこ町内会

なでしこ町内会は290世帯、約800名程の町内会です。明和校区で一番大きな公園「中央公園」で町内会活動等を実施しています。町内会員の高齢化はすすんでおり、全体の35%以上の方が65歳以上の高齢者となっています。その一方で子育て世帯の加入も増えてきており、明和校区の中では最も児童数が多い町内会となっています。(令和3年現在)

あいご会活動では子どもたちの参加が多く、様々なイベントを通じて同世代とのつながりを深めています。また、高齢者クラブも40名以上が在籍し、毎月の例会や旅行・懇親会・グランドゴルフ等を実施し、町内活動にも積極的に参加しています

これからも、地域全体で子どもたちを見守り、若い世代から高齢者まで楽しく暮らせる町内会になれるよう活動を続けていきたいと思ひます。

(会長：高橋啓友)



ハロウィン会

明和西町内会

私たち、明和西町内会は武岡に隣接しており、現在は264世帯が加入しております。高齢化の世帯が増える一方で、若い子育て世代の転入も増えてきております。

町内会の集会所である西輪館においては、定期的に公文教室やフラダンス教室、よかよか体操などを行っています。

昨今はコロナウィルスの影響で町内会や校区の行事が中止や規模縮小を強いられ親睦を深めあう機会が多くありませんでした。例年開催される町内会親睦ゴルフ大会やまちづくりカップオープンゴルフ大会、校区一斉清掃などがありますが、すべての年代が参加しやすい行事を考え、住民の皆様が安心して毎日楽しく過ごせる町内会、校区づくりを目指してまいります。

(会長：佐々木忠綱)



校区一斉清掃の参加者

小野団地町内会

私たちの小野団地町内会は、北バス停から中迫へ下る道路沿いにあり、世帯数は増減があるものの約35世帯から40世帯の小さな町内会です。

人口も100人位と少ないですが、その分お互いが顔見知りで、絆の強い元気な町内会です。あいご会も少人数ながら中学生、小学生が町内会の集合場所でもある小野ヶ丘公園で元気な声を響かせています。

小野団地町内会の課題は、他の町内会同様に未加入世帯があり、世帯数がなかなか増えないことと、会員の高齢化が進んでいることです。ただ、まだまだ若い者には負けない元気な高齢者がほとんどですので、校区の行事には出来る範囲で参加させてもらい、小野団地町内会ここにありという姿をお見せしたいと思っています。

小野団地町内会の一部は、急坂にあります坂に負けないように、住民一同手を取り合って、毎日安心して暮らせるよう頑張っています。
(会長：磯辺浩二)



毎月の公園清掃を終えて

明和中央町内会

昭和48年に発足した『明和中央町内会』は、明和三丁目に位置し、現在3区22班365世帯です。

「明和中央グラウンド・ゴルフ同好会」に続き、平成30年4月には「明和中央すこやかクラブ」も発足しました。このこともあり、校区行事は勿論、町内会の行事に参加しようという気運が高まってきました。毎年開催される、町内会の親睦を深め合う「町内会親善グラウンドゴルフ大会」、ふれあいを目的とした「校区一斉清掃」、敬老の日には、高齢者に子どもたちからの「メッセージ入りのプレゼント贈呈」、いずれの行事にも幼児から高齢者まで多数関わるようになりました。

一方で、一人暮らしの人達や高齢者に対しての見守り体制や声掛けを更に推し進めていきたいと考えております。

地域活動に希薄になりがちな昨今、誰もが町内会や校区の行事等に参加し、見守りや声掛けにより人と人との繋がりの中で、町内会活動の原点である地域における共生社会を目指し、地域の絆を深めていきたいと考えております。(会長：宇戸美明)



地区一斉清掃 ふれあい活動「子どもたちの自己紹介」

明和東町内会

昭和50年8月に「原良団地東町内会」として産声をあげた我が町内会は昭和59年4月に「明和東町内会」と名称を変更し現在に至っています。本年度はコロナ禍で様々な活動が制限されました。

しかし我々は「元気で暮らしやすい町内会づくり」をスローガンに掲げて活動しています。朝夕の登下校時の挨拶運動も定着してきました。敬老の日子どもたちから素敵なプレゼントが届きハッピーな気分になりました。子どもたちから我々が元気をもらっているという正に真逆の現象が生じていると感じる昨今です。設立3年目の明和東ハッピークラブ（高齢者クラブ）は発足以来陶芸教室・女性サロンと講演会・愛のふれあい会食等の交流を深め、充実した日々の日常を求めて活動しています。

3年後に我が東町内会は設立50周年を迎えます。大事な節目の年に向け、50周年記念誌の発刊・記念式典の行事計画等々、現役員が一致協力して、次世代への道を切り拓いていく所存であります。
(会長：上妻實志)



グラウンドゴルフ大会

明和丸岡町内会

昭和47年に原良団地分譲が開始され、同年度に明和丸岡町内会(旧原良団地)が発足し、令和2年度に明和丸岡町内会は50周年を迎えました。現在357世帯在り、町内会発足時から居住されている世帯も多くあります。

高齢化が進み一人暮らしの方も増える一方子どもたちの数も増えて来ています。町内会としては高齢者・子どもたちが今まで以上に安心して楽しく暮らす事ができ、子育てをしているお父さん・お母さんも安心して仕事ができる町を目指します。その為には「福祉・あいご活動」等を更に充実させ町内会を進展させて行く事が大事です。時代が変われば町内会の在り方、考え方も少しずつ変えていかなければなりません。町内会発足以来、町内会を支えてこられた多くの方は高齢になってきています。若い年代の方と世代交代をして町内会を支え盛り上げて行かなければならないと思っております。

(会長：福元正隆)

明和丸岡町内会
ホームページQRコード

ホームページ
トップ画面



会報ページ

パソコンからの閲覧は

<https://sites.google.com/view/meiwamaruoka>



防災訓練風景

明和北町内会

北町内会は今年で発足47年目を迎えました。加入世帯(180世帯)の6割が傾斜面に位置し、桜島と錦江湾を望める環境にあります。

少子高齢化が進む中、恒例行事を継続できるようその年の役員、高齢者の「いきいき北クラブ」、あいご会が手を取り合いながら地域活動に取り組んでいます。

その一つとして毎年9月に「十五夜の集い」を行い、子どもたちからお年寄りまで綱引き・抽選会など楽しんでます。また12月には町内会あげでの「年末一斉清掃」で美化活動を推進します。

最近では新居を構えた若い世代の方々の入会により子どもたちの数も増え、今後の地域活動に期待が膨らみます。これからも住み良い町内会を目指します。

(会長：福丸英明)



「十五夜」子どもたちの綱引き

永吉団地親和会

永吉団地親和会は町内会加入400世帯が暮らす静かな団地です。校区で最も高齢化が進んでいましたが、徐々に人が入れ替わり子育て世代も少しずつ増えてきました。赤ちゃんの泣き声や小さな子どもたちの声はやはり暮らしに元気と活力が生まれます。

昭和40年代半ばに生まれた団地ですが、第一世代の皆様がしっかりと地域の絆を育み、和気あいあいのよき作風を築き上げてくださいました。あいご会と栄寿会(高齢者団体)の連携などは、まさに少子・高齢化社会にマッチングした取り組みとも言えます。

最大の課題は老朽化が進む集会所・親和会館の建て替えです。コロナ禍の影響で計画の変更を余儀なくされていますが、会員の皆様のご期待に応えなければなりません。私たちの団地は時代の変化にも対応し、変えてはならない価値も見出し前進を図ります。

(会長：伊地知紘徳)



おたのしみ会

資料4 プラン策定のためのアンケート (1期プランから)

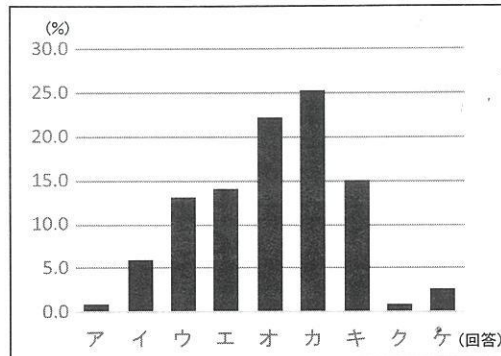
1 あなた自身のことについての質問

設問1 どここの町内会に住んでいますか。

(略)

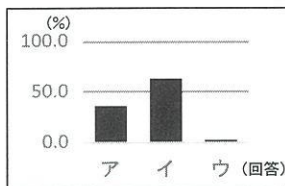
設問2 あなたの年齢を教えてください。

	回 答	回答数	割合(%)
ア	20代	20	0.9
イ	30代	129	5.9
ウ	40代	286	13.1
エ	50代	307	14.1
オ	60代	485	22.2
カ	70代	551	25.2
キ	80代以上	327	15.0
ク	90代以上	21	1.0
ケ	無回答	57	2.6
合 計		2183	100.0



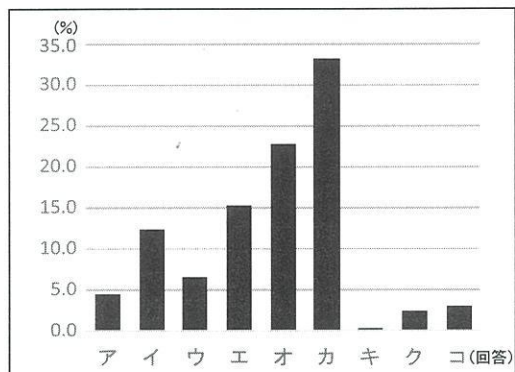
設問3 性別はどちらですか。

	回 答	回答数	割合(%)
ア	男性	783	36.2
イ	女性	1351	62.4
ウ	無回答	31	1.4
合 計		2165	98.6



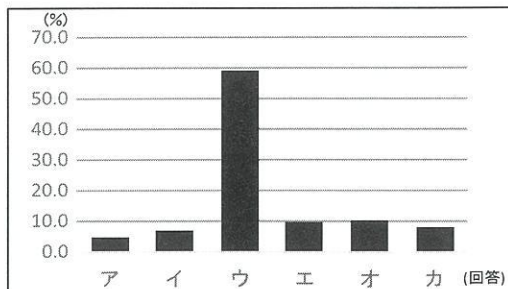
設問4 職業は何ですか。

	回 答	回答数	割合(%)
ア	自営業	98	4.5
イ	会社員	266	12.3
ウ	公務員	141	6.5
エ	パート	331	15.3
オ	専業主婦	493	22.8
カ	無職	716	33.1
キ	学生	2	0.1
ク	その他	51	2.4
ケ	無回答	64	3.0
合 計		2162	100.0



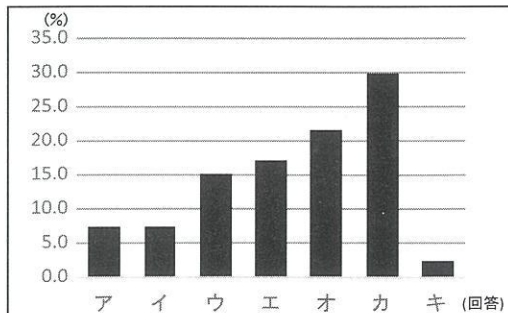
設問5 明和に住んでいる理由は何ですか。

	回 答	回答数	割合(%)
ア	生れも育ちも明和	108	5.0
イ	配偶者が明和	157	7.3
ウ	新たな居住地	1281	59.5
エ	通勤に便利	211	9.8
オ	その他	222	10.3
カ	無回答	175	8.1
合 計		2154	100.0



設問6 明和に住んで何年ですか。

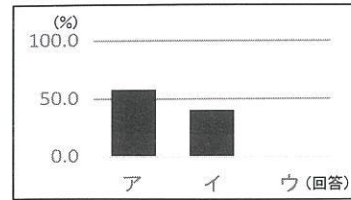
	回 答	回答数	割合(%)
ア	1年～5年	157	7.2
イ	6年～10年	156	7.2
ウ	11年～20年	329	15.1
エ	21年～30年	369	17.0
オ	31年～40年	466	21.4
カ	40年以上	650	29.9
キ	無回答	47	2.2
合 計		2174	100.0



2 地域の環境やまちづくりについての質問

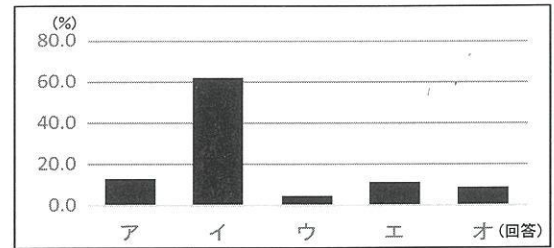
設問1 明和は住みやすいと思いますか。

	回 答	回答数	割合(%)
ア	思う	1928	58.0
イ	思わない	1351	40.7
ウ	無回答	44	1.3
合 計		3323	100.0



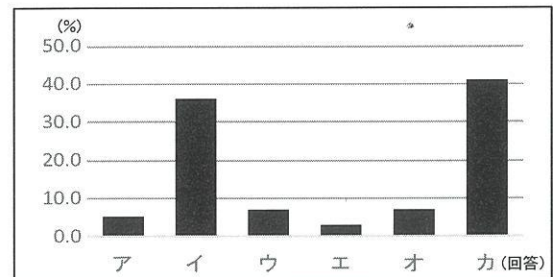
設問2 住みやすいと思う人にお尋ねします。その理由は何ですか。

	回 答	回答数	割合(%)
ア	出身地、知り合いが多い	251	12.7
イ	お店や交通が便利	1227	62.3
ウ	イベントや行事が多い	95	4.8
エ	地域の声かけと見守り	227	11.5
オ	その他	171	8.7
合 計		1971	100.0



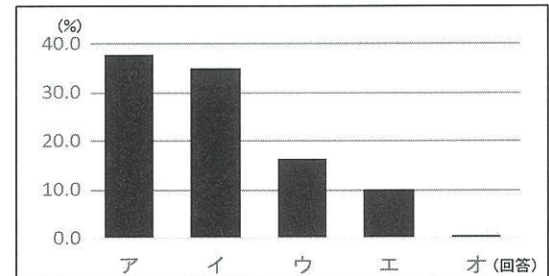
設問3 住みたくないと思う人にお尋ねします。その理由は何ですか。

	回 答	回答数	割合(%)
ア	地域に知り合いがいない	19	5.4
イ	店や交通が不便	128	36.2
ウ	イベントや行事が多い	25	7.1
エ	近所付き合いが大変	11	3.1
オ	その他	25	7.1
カ	無回答	146	41.2
合 計		354	100.0



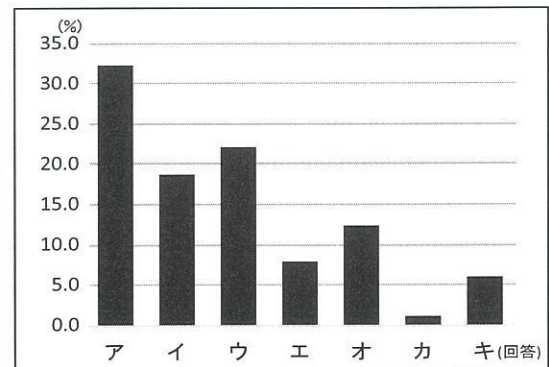
設問4 地域をどのようなまちにしたいですか。(複数回答)

	回 答	回答数	割合(%)
ア	生活が便利なまち	1241	37.7
イ	安心・安全な町	1150	35.0
ウ	相互協力しあう町	539	16.4
エ	活気ある町	334	10.2
オ	その他	24	0.7
合 計		3288	100.0



設問5 魅力ある町にするために、どのような活動の充実を期待しますか(複数回答)

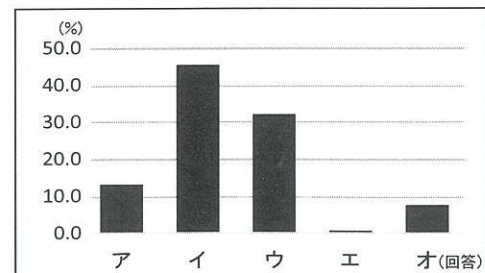
	回 答	回答数	割合(%)
ア	社会福祉	1305	32.2
イ	環境衛生	758	18.7
ウ	自主防災	892	22.0
エ	住民の交流	318	7.9
オ	青少年の健全育成	498	12.3
カ	その他	40	1.0
キ	無回答	239	5.9
合 計		4050	100.0



3 生活環境についての質問

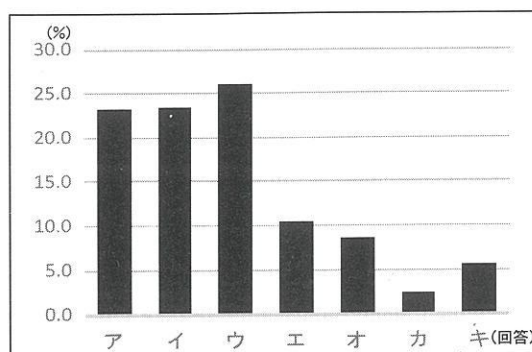
設問1 地域の生活環境はよいと思いますか。

	回 答	回答数	割合(%)
ア	大変良い	296	13.2
イ	良い	1022	45.7
ウ	普通	721	32.3
エ	悪い	20	0.9
オ	その他	176	7.9
合 計		2235	100.0



設問2 地域の生活環境をさらに良くするためには、今後どのような取組が必要だと思いますか。

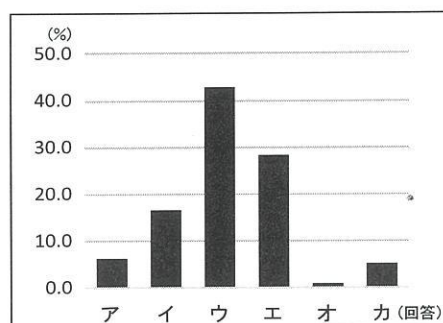
	回 答	回答数	割合(%)
ア	災害対策	995	23.2
イ	防犯・防火	1008	23.5
ウ	子どもや高齢者の見守り	1115	26.0
エ	危険箇所の点検	453	10.6
オ	ゴミ分別リサイクル	369	8.6
カ	その他	104	2.4
キ	無回答	241	5.6
合 計		4285	100.0



4 地域福祉についての質問

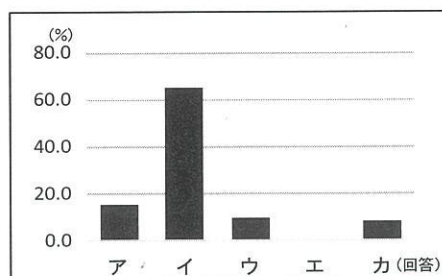
設問1 近所の方とどの程度お付き合いをしていますか。

	回 答	回答数	割合(%)
ア	悩み・困りごとの相談	150	6.1
イ	簡単な頼み事	409	16.7
ウ	たまの世間話	1045	42.8
エ	あいさつ程度	692	28.3
オ	付き合いなし	20	0.8
カ	無回答	126	5.2
合 計		2442	100.0



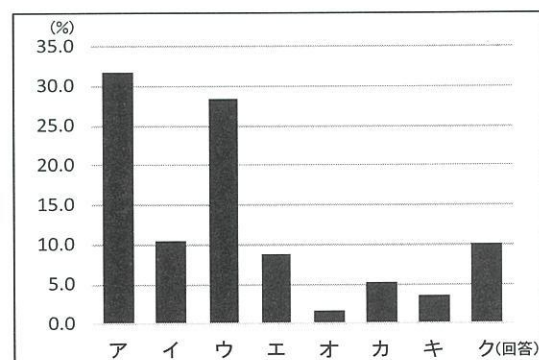
設問2 あなたはご近所による助け合いは必要だと感じますか。

	回 答	回答数	割合(%)
ア	大いに必要	348	15.7
イ	必要	1440	65.2
ウ	あまり必要ない	217	9.8
エ	必要ない	17	0.8
オ	無回答	188	8.5
合 計		2210	100.0



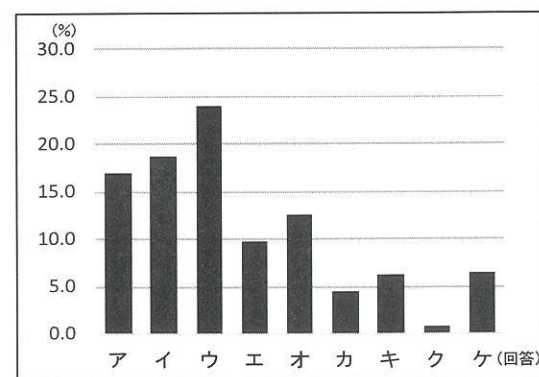
設問3 日頃どのような悩みや不安を感じていますか。
(複数回答)

	回 答	回答数	割合(%)
ア	家族の健康	1011	31.7
イ	家族の介護	337	10.6
ウ	老後の生活	907	28.5
エ	子育てや教育	279	8.8
オ	家庭内の人間関係	51	1.6
カ	地域の人間関係	168	5.3
キ	その他	112	3.5
ク	無回答	321	10.1
合 計		3186	100.0



設問4 地域の福祉をさらに良くするためには、今後どのような取組が必要だと思いますか。

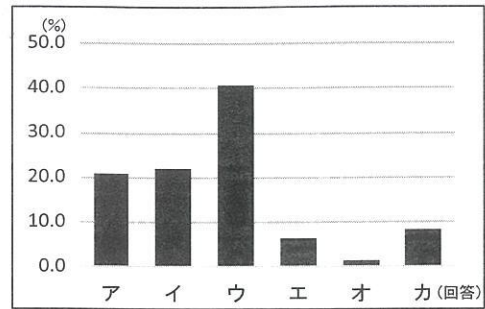
	回 答	回答数	割合(%)
ア	身近な相談窓口	624	16.9
イ	情報提供	692	18.8
ウ	高齢者への見守り	884	24.0
エ	子育て支援	363	9.8
オ	健康維持への取組み	463	12.5
カ	ボランティア活動支援	167	4.5
キ	世代間交流	232	6.3
ク	その他	29	0.8
ケ	無回答	236	6.4
合 計		3690	100.0



5 青少年育成についての質問

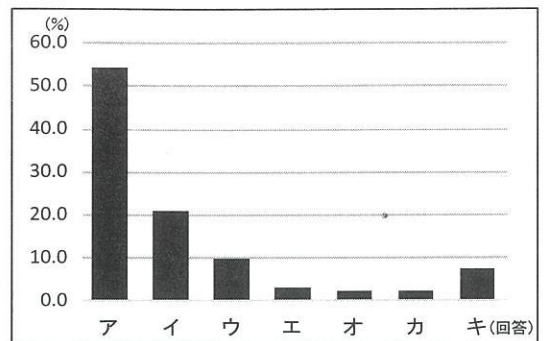
設問1 日頃、校区の子どもたちと、どの程度関わりを持っていますか。

	回 答	回答数	割合(%)
ア	よく声かけをする	460	20.8
イ	行事等で顔を合わせる程度	488	22.1
ウ	ふれあいなし	899	40.7
エ	悪いことは注意する	139	6.3
オ	関心がない	36	1.6
カ	無回答	186	8.4
合 計		2208	100.0



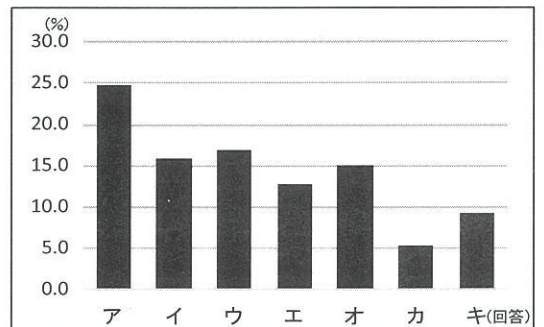
設問2 青少年育成のため、協力したいと思うことは何ですか。

	回 答	回答数	割合(%)
ア	挨拶・声掛け	1578	54.2
イ	見守り活動	611	21.0
ウ	行事への参加	288	9.9
エ	相談相手	92	3.2
オ	昔の歴史・遊びの伝承	64	2.2
カ	関心がない	68	2.3
キ	無回答	213	7.3
合 計		2914	100.0



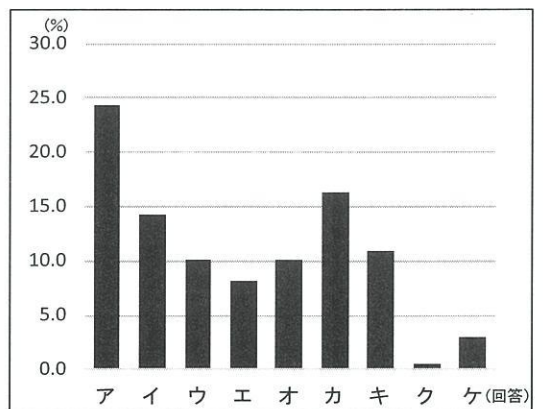
設問3 最近青少年育成で気になることは何ですか。

	回 答	回答数	割合(%)
ア	家庭教育力の衰退	976	24.8
イ	地域教育力の衰退	624	15.9
ウ	情報化社会の進展	669	17.0
エ	社会規模意識の衰退	504	12.8
オ	人権・道徳意識の衰退	590	15.0
カ	その他	211	5.4
キ	無回答	362	9.2
合 計		3936	100.0



設問4 これからどのような子どもに育ててほしいですか。
(複数回答)

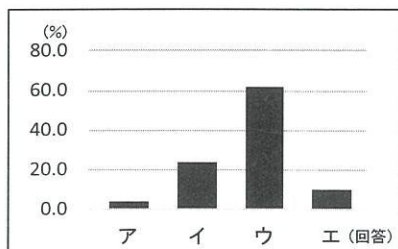
	回 答	回答数	割合(%)
ア	思いやりがある	1493	24.0
イ	協調性がある	872	14.0
ウ	友人を大事に	678	10.9
エ	目標がある	554	8.9
オ	自立心がある	665	10.7
カ	礼儀正しい	1000	16.0
キ	社会性がある	708	11.4
ク	その他	40	0.7
ケ	無回答	212	3.4
合 計		6222	100.0



6 社会教育・社会体育に関する質問

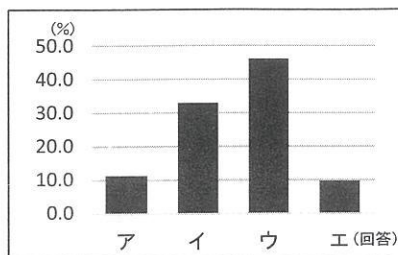
設問1 校区の社会学級（成人・女性・家庭教育・父親セミナー）などに参加したことがありますか。

	回 答	回答数	割合(%)
ア	現在参加	86	4.0
イ	参加したことがある	511	23.6
ウ	参加していない	1340	62.0
エ	無回答	226	10.4
合 計		2163	100.0



設問2 校区のスポーツ行事や地域活動に参加していますか。

	回 答	回答数	割合(%)
ア	参加している	243	11.2
イ	参加したことがある	718	33.0
ウ	参加していない	1000	46.0
エ	無回答	214	9.8
合 計		2175	100.0

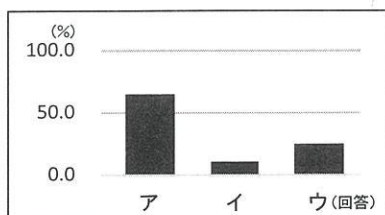


7 校区の行事に関する質問

設問1 下記の行事に参加したことがありますか。

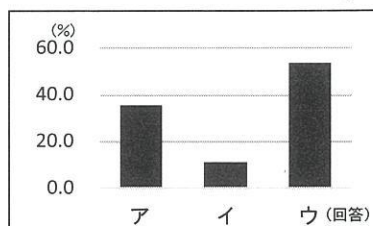
ア 校区総合体育大会

	回 答	回答数	割合(%)
ア	参加したことがある	1331	64.6
イ	時々ある	229	11.1
ウ	参加していない	501	24.3
合 計		2061	100.0



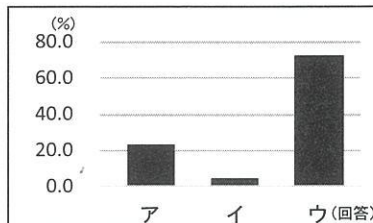
イ 校区文化祭

	回 答	回答数	割合(%)
ア	参加したことがある	665	35.1
イ	時々ある	214	11.3
ウ	参加していない	1015	53.6
合 計		1894	100.0



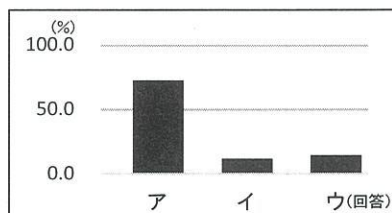
ウ 校区グラウンドゴルフ大会

	回 答	回答数	割合(%)
ア	参加したことがある	436	23.1
イ	時々ある	85	4.5
ウ	参加していない	1367	72.4
合 計		1888	100.0



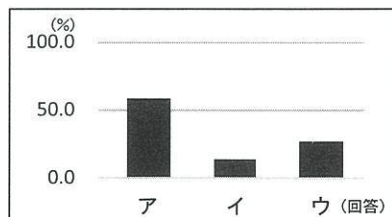
エ 校区一斉ふれあい清掃

	回 答	回答数	割合(%)
ア	参加したことがある	1424	73.3
イ	時々ある	228	11.7
ウ	参加していない	291	15.0
合 計		1943	100.0



オ 明和ふるさと夏祭り

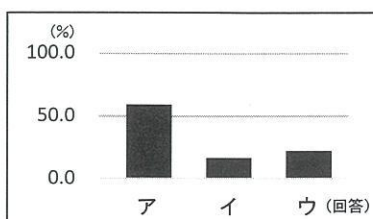
	回 答	回答数	割合(%)
ア	参加したことがある	1179	59.0
イ	時々ある	287	14.4
ウ	参加していない	533	26.7
合 計		1999	100.0



設問2 これまで実施した行事(ア～カ)について、それぞれお答えください。

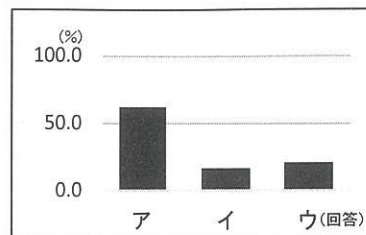
ア 校区総合体育大会

	回 答	回答数	割合(%)
ア	継続したい	1034	59.9
イ	改善が必要	301	17.4
ウ	しなくてよい	391	22.7
合 計		1726	100.0



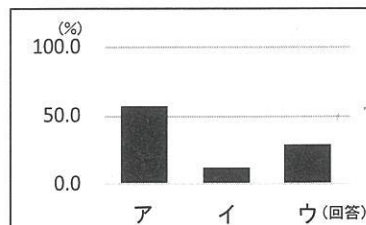
イ 校区文化祭

	回 答	回答数	割合(%)
ア	継続したい	992	62.3
イ	改善が必要	277	17.4
ウ	しなくてよい	324	20.3
合 計		1593	100.0



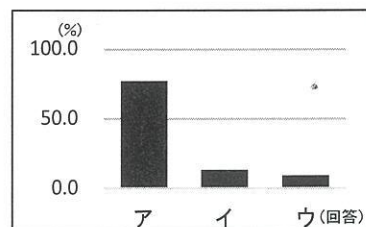
ウ 校区グラウンドゴルフ大会

	回 答	回答数	割合(%)
ア	継続したい	878	57.6
イ	改善が必要	195	12.8
ウ	しなくてよい	451	29.6
合 計		1524	100.0



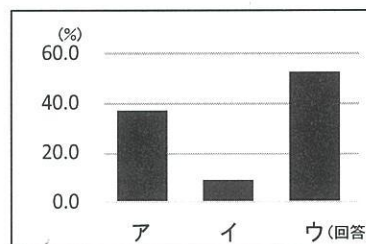
エ 校区ふれあい清掃

	回 答	回答数	割合(%)
ア	継続したい	1319	76.7
イ	改善が必要	230	13.4
ウ	しなくてよい	170	9.9
合 計		1719	100.0



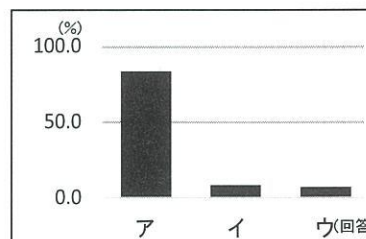
オ オープンゴルフ大会

	回 答	回答数	割合(%)
ア	継続したい	535	37.5
イ	改善が必要	134	9.4
ウ	しなくてよい	758	53.1
合 計		1427	100.0



カ めいわふるさと祭り

	回 答	回答数	割合(%)
ア	継続したい	1299	83.1
イ	改善が必要	143	9.1
ウ	しなくてよい	121	7.7
合 計		1563	100.0



設問3 新しく実施してもらいたい行事

	回 答
1	町内バザー
2	ウォーキング大会
3	校区対抗ソフトボール大会
4	月見
5	年度末の花見や健康体操
6	みんなで歌う会(のんびりした行事)
7	明和ふるさと祭りでの花火
8	子どもとの交流行事
9	カラオケ大会
10	フリーマーケット

【8. 商店街、病院その他の施設に希望すること。あるいは活性化への提言】

(1) 商店街・病院その他に関する事

- ①眼科・耳鼻科が欲しい ②飲食店が欲しい ③ショッピングプラザの空きスペースの活用
- ④総合病院の設置 ⑤居酒屋 ⑥コンビニ（1丁目に） ⑦ファミリーレストラン
- ⑦病院・買物等すべてが明和で済ませるコミュニティづくり
- ⑧ショッピング明和の充実・活性化・2階の利用（主婦が気軽に立ち寄れるカフェ等）
- ⑨山形屋ショッピングプラザを大切に良く活用し、存続させる。
- ⑩ファミリーレストラン・喫茶店・商店街が欲しい。

(2) 活性化への提言

- ①26-3番線のバス運行の便数が少なく、高齢者は大変。便数を増やして
- ②福祉館の建替（災害時の避難場所・駐車スペースがない・広いスペースの会議室・児童ルームのリニューアル・赤ちゃん連れの親子にも利用しやすい施設）
- ③町内を巡回するバス ④総合施設（多目的ホール・トレーニングルーム・公園等）
- ⑤人口増へつながる施策 ⑥バス停とバスの増便 ⑦予備校や専門学校の誘致

【9. 県営住宅用土地問題について】

現在、県営住宅の建替えが進んでおり、平成32年には完了の予定です。建替後は住宅の中心部を除き、1万5千㎡が空地となります。この広大な土地の活用は未だ決まっていません。校区の活性化に関し、跡地の活用は今後の発展に大きな影響を及ぼすものと考えられます。今後のあるべき校区の姿については、どのような形が望ましいか、また活性化にふさわしい具体的な活用策があればお聞かせ下さい。

- ①民間の活力活用 ②老人ホームをはじめ高齢者福祉施設（介護施設、シェアハウス）の建設
- ③市民農園 ④雨の日も遊べる施設や学習館
- ⑤公共施設（広さのある校区公民館・校区図書館・屋内運動場・多目的広場）
- ⑥住宅街を作る（人口増が期待できるまち）
- ⑦大型商業施設（休憩施設を併設したショッピングモール）
- ⑧専門学校の誘致 ⑨民間企業に任せる（賃貸マンションの建設・大型スーパーの誘致）
- ⑩鹿児島市への売却 ⑪グラウンドゴルフ場の整備 ⑫葬式ができるような集会所
- ⑬災害時の避難場所の確保

【10. その他 何でも希望があれば書いてください】

- ①カラスの駆除 ②町内会の活動のスマート化
- ③歩いて楽しめる歩道の整備
- ④県職・教職・大学宿舎などの空室の活用 ⑤若いファミリーが住める町づくり
- ⑥次世代のリーダーを発掘するため、町内会間の交流が必要
- ⑦退職間もないシニア時代の会の結成
- ⑧災害に備え、孤立しない町づくり
- ⑨一種住宅地の見直し（活性化の為）
- ⑩町内会未加入世帯の調査（なぜ入会しないか・意見を聞く）
- ⑪市営バスと民間バスが同じ時間に競合しているので、時間をずらして欲しい。

資料5 まちづくりプラン策定委員会

委員会役職	まちづくり協議会役職	氏 名	所属団体（役職）
委員長	会 長	伊地知 紘 徳	永吉団地親和会会長、校区福祉協議会会長
副委員長	副 会 長	宇 戸 美 明	中央町内会会長、青少年健全育成実行委員会委員長
委 員	総務部会部会長	五反田 新 一	明和小学校教頭
”	まちづくり部会部会長	上 妻 實 志	明和東町内会会長
”	安心安全部会部会長	福 丸 英 明	明和北町内会会長
”	文化部会部会長	村 原 芳 実	明友町内会会長
”	社会体育部会部会長	山 下 かおる	スポーツ推進委員
”	青少年健全育成部会部会長	一 氏 寛 樹	明和小学校P T A会長
”	福祉部会部会長	日 高 夏 子	明和地区民生委員・児童委員協議会会長
”	理 事	井 上 貴 文	明和小学校校長
”	”	立 山 佳 人	明和中学校校長
”	”	永 野 由可里	明和中学校教頭
”	”	丸 尾 俊	明和中学校P T A会長
”	”	福 元 正 隆	明和丸岡町内会会長
”	”	佐々木 忠 綱	明和西町内会会長
”	”	高 橋 啓 友	明和なでしこ町内会会長
”	”	磯 辺 浩 二	小野団地町内会会長
”	”	神 囿 寛 子	校区あいご会会長
”	”	税 所 崇	スポーツ推進委員
”	”	藤 原 睦	おやじクラブ会長
”	”	久木田 尋 美	明和商工同友会会長
事務局	事務局 長	徳 田 繁 代	まちづくり協議会事務局長



明和音頭

作詞 阿久根 星斗
 作曲 鎌田 範政 (正和)

ハ一 桜岳は七色 夕日に映える
 明和校区の 三千世帯
 心一つに 結び合い

結び合い

サーサ 輪になって

サーサ 踊ろう

明和音頭

ハ一 明和の杜には 祭りの囃子
 薩摩乙女の 浴衣がゆれて
 月もほころぶ 笑い顔

笑い顔

サーサ 輪になって

サーサ 踊ろう

明和音頭

(二)

ハ一 こゝはふるさと 明和の町よ

老いも若いも 手に手をとって

和む心に 血が通う

血が通う

サーサ 輪になって

サーサ 踊ろう

明和音頭

(四)

ハ一 こゝは産土 明和の里よ

若いひとみに 希望が燃えて

文化の園には 花薫る

花薫る

サーサ 輪になって

サーサ 踊ろう

明和音頭

明和まちづくり協議会

第2期まちづくりプラン 令和4年5月発行

事務局 鹿児島市明和2丁目1番1号

(明和校区公民館内)

TEL・FAX 296-8875

メール：meiwa-cc@po5.synapse.ne.jp